

## 平成 18 年 7 月期 第 1 四半期業績の概況（非連結）

平成 17 年 12 月 2 日

会 社 名 サムコ 株式会社 ( JASDAQ ・ コード番号 : 6387 )  
 ( URL <http://www.samco.co.jp> )  
 代 表 者 役 職 名 代表取締役社長  
 氏 名 辻 理  
 問い合わせ先 責任者役職名 管理本部長兼経理部長  
 氏 名 田井 彰 ( Tel : ( 075 ) 621 - 7841 )

## 1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高（又はこれに相当する事項）の会計処理の方法の : 無  
 最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無

## 2. 平成 18 年 7 月期第 1 四半期業績の概況（平成 17 年 8 月 1 日～平成 17 年 10 月 31 日）

## ( 1 ) 売上高及び受注高

	売 上 高		受 注 高	
	百万円	%	百万円	%
18 年 7 月期 第 1 四 半 期	459	( 17.1 )	924	( 7.7 )
17 年 7 月期 第 1 四 半 期	554	( 16.8 )	858	( 2.7 )
( 参考 ) 17 年 7 月 期	3,090	( 8.4 )	3,165	( 0.2 )

(注)パーセント表示は、前年同期比増減率を示しております。

## [ 売上高及び受注高に関する補足説明 ]

当四半期におけるわが国経済は、企業収益の改善による設備投資の回復や個人消費の増加に牽引され、長期に及んだ踊り場状態を抜け出す状況で推移いたしました。また海外につきましては、米国経済や中国をはじめとしたアジア経済の景気拡大が続きました。しかし、一方で原油価格の高騰が世界経済に与える影響が依然として不確定要素となっています。

このような環境のもと、当社ではこれまでの研究開発用装置の販売から生産機市場への本格参入を目標に生産用装置の市場投入と生産機市場への販売強化に注力いたしました。その結果、電子部品分野、オプトエレクトロニクス分野で LED・LD 用途向けにエッティング装置・洗浄装置の販売が堅調に推移したものの、三次元実装用途向けで装置の大型化に伴い商談から出荷までの期間が長期化し、当該第 1 四半期の売上高は 459 百万円に留まりました。

受注高につきましては、電子部品分野の市場回復やオプトエレクトロニクス分野で LD 用途向けエッティング装置の受注を獲得したほか、実装分野で三次元実装向けに受注が好調で 924 百万円となりました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

[概要]

当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象は発生しておりません。

3. 平成18年7月期の業績予想（平成17年8月1日～平成18年7月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益
中間期 通期	百万円	百万円	百万円	円 錢
	1,720	226	135	—
	4,100	740	444	90 13

[業績予想に関する定性的情報等]

現時点において中間期及び通期の業績予想に変更はありません。

以上

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。